

特集 One Kuraray, One HR: 人事変革プロジェクト「THRIVE」始動

クラレグループがグローバルで組織力の高い企業へと進化していくための重要な施策の一つ、人事変革プロジェクト「THRIVE」を紹介します。



人事部長
大野 智浩

プロジェクト「THRIVE」とは？

THRIVEとは「力強く成長する」「繁栄する」を意味します。本プロジェクトは、2年間にわたる準備期間を経て2025年9月にスタートしました。経営層の強力なコミットメントのもと、地域や拠点を横断するグローバルな体制を構築し、中長期的な企業価値向上に向けた人事基盤の変革を段階的に推進していきます。

多様なグローバルメンバーでチームを構成



THRIVEプロジェクト
推進担当
Tom Tonan



HCMプロジェクト
推進グループリーダー
今宮 智子

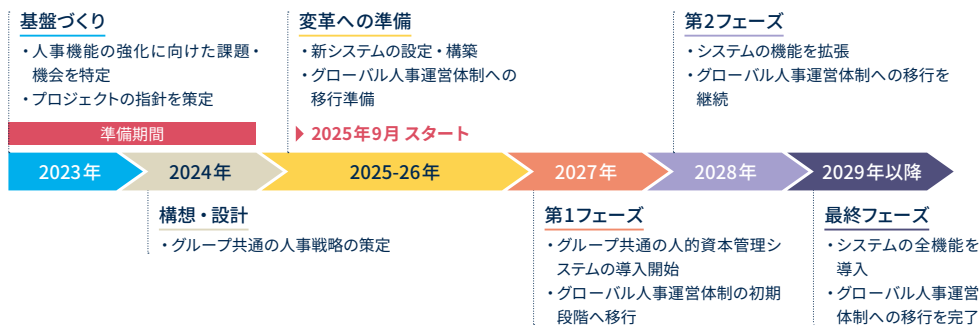


チェンジ&コミュニケーション
グループリーダー
Johanna Krauthauf



グローバル人事運営体制
推進リーダー
Sandra De Bock

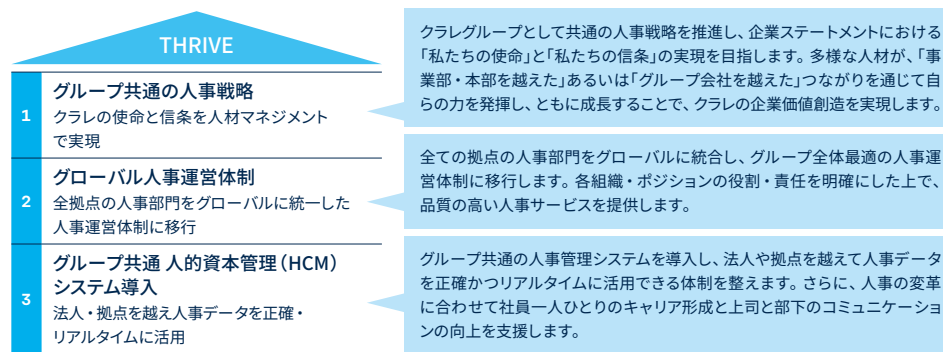
「THRIVE」の実行スケジュール



背景・目指す姿

現在、クラレグループは世界32カ国・地域に拠点をもち、社員の4割、売上高の8割を日本国外が占めています。グローバル企業として持続的に企業価値を高めていくには、拠点ごとに異なっている人事制度やシステムを共通化させ、ガバナンス確保や地域を越えた適所適材の実現、人事部門の連携を強化する必要があります。そのために、世界中の多様な人材の個性を生かし、グループ全体の組織力を高めるプロジェクトとして「THRIVE」を立ち上げました。具体的には、①グループ共通の人事戦略、②グローバル人事運営体制、③グループ共通人的資本管理(HCM)システム導入の3つの柱を推進します。これらを通じて人材の可視化と適正配置を実現し、いかなる環境変化にも対応し得る、実行力の高い組織基盤を築いていきます。

「THRIVE」の全体像



実現したい価値

- ・グローバル共通指標で組織・ポジションを管理することにより、事業計画と人員計画の連動性が高まり、人件費・人員管理上のガバナンスが向上
- ・法人・拠点を越えた、適所適材の人材配置・後継者育成計画を実現
- ・法人・拠点間で人事関連のルール・プロセスのばらつきを最小化し、全体最適の組織・人材マネジメントを支援
- ・各ポジションの職務・役割・必要な能力を可視化し、社員のキャリア形成機会を拡大、自立的なキャリア形成・能力開発を支援
- ・人事部門の実務を効率化し、HRビジネスパートナー機能を強化することで事業目標達成を支援